

工藤重典 演奏活動50年記念

2020年に中止となって以来、実に5年越しとなる再演決定！ 最高峰のメンバーで聴くバッハ:ブランデンブルク協奏曲全曲

J.S.バッハの管弦楽作品の最高峰にして、純器楽によるバロック音楽の極みであるブランデンブルク協奏曲。その全曲公演のために、2025年に演奏活動50年を迎えた日本音楽界のパイオニア・工藤重典の呼びかけにより楽界を代表するビッグ・スターたちが集結！

近年の古楽ブームにより世界的にバロック演奏、またバッハ演奏が進化してきた昨今。ここ日本でも、ほんの十数年前までは「あり得ない」とまで言われていたノン・ヴィブラート奏法が今では当たり前のように取り入れられるようになったことひとつをとっても、その変遷ぶりは革命的と言えるほどでしょう。そんな激動の現代に、日本の最前線に立つ音楽家たちがどのようなバッハ音楽を描くのか。それを確かめるのに、これほどふさわしい公演はありません。

2020年にコロナ禍によって中止となって以来となる、実に5年越しの再演となる今回。まさに念願、待望の公演をお聴き逃しなく！

工藤重典(フルート) Shigenori Kudo, Flute

パリ国立音楽院を一等賞で卒業し、23歳の若さで第2回パリ国際フルートコンクールに優勝。ランパルに認められ世界各地で演奏する。パリ、ロンドン、ウィーン、ミラノ、ニューヨーク、モスクワ、ミュンヘンなど世界各地でソリストとして演奏してきた。CDはマイスター、エラート、ソニー、ナクソスレーベルなどからリリースされ、75タイトルを超える。1980年、第1回JPランパル国際フルートコンクールで優勝。東京音楽大学特別招聘教授。文化庁芸術祭賞、京都芸術祭賞、村松賞、仏オベルネ名誉市民賞、伊flaut生涯功労賞などを受賞。

加藤知子(ソロ・ヴァイオリン)

Tomoko Kato, Solo Violin

三瓶詠子、故久保田良作、江藤俊哉の各氏に師事。第47回日本音楽コンクール・ヴァイオリン部門第1位、レウカディア賞受賞。桐朋学園大学卒業。1982年第7回チャイコフスキー国際コンクール第2位受賞。現在、桐朋学園大学で後進の指導にもあたっている。

演奏メンバー

●Violin

ソロ・ヴァイオリン: **加藤知子**(桐朋学園大学教授)
コンサートマスター: **森下幸路**(大阪交響楽団首席ソロ・コンサートマスター)

福田悠一郎(品川カルテット)

鎌田 泉(紀尾井ホール室内管弦楽団)

森岡 聡(名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター)

●Viola

須藤三千代(元東京フィルハーモニー交響楽団首席)

小山佳織(ARKフィルハーモニック)

古屋聡見(石田組)

●Cello

村井 将(NHK交響楽団)

三森未来子(東京音楽大学講師)

大谷雄一(大阪交響楽団首席)

●Contrabass

小笠原茅乃(東京フィルハーモニー交響楽団)

●Flute

工藤重典(東京音楽大学特別招聘教授)

ヤーノシュ・バーリント(デトモルト音楽大学教授)

●Oboe

古部賢一(東京音楽大学教授)

高橋早紀(富士山静岡交響楽団)

野村明日夏(フリーランス)

●Fagotto

保崎 佑(東京音楽大学助教)

●Trumpet

辻本憲一(読売日本交響楽団首席)

●Horn

柳谷 信(富士山静岡交響楽団首席)

阿部華苗(富士山静岡交響楽団)

●Cembalo

水永牧子(フリーランス)

工藤重典

©土屋政則

Shigenori Kudo & His Friends play
6 Brandenburg Concertos